

第 1 回 鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議 議事録

件 名	第 1 回 鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議
日 時	平成 24 年 6 月 26 日 14 時～15 時
場 所	市役所東別館 9 階 特別中会議室
出席者	鹿児島市路面電車観光路線検討連絡会議委員 13 名（1 名欠席）
会 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. あいさつ（鹿児島市企画部長） 3. 説明事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 検討連絡会議について ・ 路面電車の有効活用策の検討状況について 4. その他 5. 閉 会
主な意見等	<p>【主な意見】 ※文中の○は委員を、●は事務局を示す。</p> <p>○観光路線としての整備の必要性は理解できるが、国道10号北バイパスの整備により今後、臨港道路の交通量が増大することが想定されるので、臨港道路と平行に路面電車が走る区間の交通処理が課題として挙げられる。</p> <p>●第2回以降の検討連絡会議で整理していきたい。関係機関とは個別協議もしていきたい。</p> <p>○港湾区域が検討ルートに含まれており、技術的・法律的な課題を解決（整理）していかなければルートの絞り込みは難しいと考える。</p> <p>●交通処理のほか港湾計画の変更などの手続きもあるので、個別に協議していきたい。</p> <p>○単線での路線新設を検討しているとのことだが、車線構成について走行部のほか停留場部についても示して欲しい。</p> <p>●停留場の位置については決まっていないことから、標準的な横断図でお示ししたい。</p> <p>○架線レス車両（バッテリーtram）の導入検討についてはいつぐらいに検討連絡会議で示されるのか。</p> <p>●バッテリーtramの導入可能性については専門機関への委託調査を予定しており、今年度中の検討連絡会議で中間報告ができればと考えている。</p> <p>○観光路線が新設されると、天文館地区と面的につながることから期待している。</p> <p>○鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業では現時点で観光路線新設の計画は含まれていないが、路線新設が位置づけられるのであれば整合を図るべきではないかと考える。</p> <p>○道路部で自転車走行ネットワークのルート策定に取り組んでおり、ウォーターフロント地区も含まれることから両事業が進むよう協議をしていきたい。</p>